

保護者の皆様

開星中学校・高等学校

校長 小山内 仁

熱中症予防対策についての考え方（お知らせ）

惜春の候 保護者の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から本校の教育活動についてご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて気象庁によりますと、この夏は、太平洋高気圧の北への張り出しが強まり、全国的に気温は平年より高いと予想されております。そのため環境省による令和7年度の暑さ指数（WBGT）・熱中症警戒アラート等の情報提供は、4月23日（水）から10月22日（水）まで実施されるとのことです。

熱中症警戒情報（熱中症警戒アラート）の概要（キーメッセージ）は次のとおりです。

○熱中症警戒アラートが発表された地域において、気温が著しく高くなることにより熱中症による人の健康に係る被害が生ずるおそれがあるので、他人事と考えず、暑さから、自分の身を守りましょう！！

○まずは、室内等のエアコン等により涼しい環境にて過ごしましょう。

○その上で、こまめな休憩や水分補給・塩分補給をしましょう。

○高齢者、乳幼児等の方は熱中症にかかりやすいので特に注意し、周囲の方も声かけをしましょう。

○皆で、身近な場所での暑さ指数（WBGT）を確認し、涼しい環境以外では、運動等を中止しましょう（皆で熱中症対策を積極的に取りやすい環境づくりをしましょう。）！！（環境省 HP より）

あらためて環境省熱中症予防対策指針に則り、生徒の安全確保を最優先する「熱中症予防対策マニュアル」をお示しいたします（別紙）。

つきましては、上記マニュアルの中で示している「気温 35℃以上かつ暑さ指数（WBGT）31℃以上では、特別の場合以外は運動を中止する」を本校の安全基準とします。さらにはこの安全基準を満たしていたとしても、生徒に熱中症等の危険がおよぶ恐れがあると判断した場合は、運動以外の各種イベント等も含めて、その全部または一部を中止することがあります。

万が一中止した際、生徒にとって大切な活動の場が無くなるのは残念ではありますが、何よりも生徒の安全確保を最優先して、事故の無い学校運営に邁進していきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

判断基準(教育課程における諸活動について)

・気温 35℃以上かつ暑さ指数 31℃以上の場合

⇒運動・イベント等中止

・気温 31℃以上～35℃未満かつ暑さ指数 28℃以上～31℃未満の場合

⇒教頭・養護・担当で、生徒の健康状態・今後の天候・気象状況等を考慮して判断する

※気温 31℃未満、暑さ指数28℃未満でも、状況に応じて中止の判断をする場合がある

※暑さ指数とは

暑さ指数（WBGT（湿球黒球温度）：Wet Bulb Globe Temperature）は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。

単位は気温と同じ摂氏度（℃）で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数（WBGT）は人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい ①湿度、②日射・輻射（ふくしゃ）など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。